

## 編集後記

## 平成19年度通常総会

日時 2007年5月27日(日)午前11時~12時

場所 調布市布田1-32-5 マートルコート調布407

- 議題(1) 主たる事務所の移転  
(2) 平成18年度事業報告、会計報告  
(3) 平成19年度事業計画、予算  
(4) その他

正会員の方へは総会開催のがきをお送りします。出欠のご返事をお願いいたします。

開催予定

## 親子の上手な コミュニケーション講座

~障がいをもつ人からの学びを生かして~

2007年10月28日(日)午後1:30

会場(予定): 電気通信大学

創立80周年記念会館3階フォーラム

主催/特定非営利活動法人海から海へ

後援(予定)/調布市 電気通信大学 調布市教育委員会  
(平成19年度調布市社会教育関係団体補助金交付事業)

## 2007年度会費

多くの方々からたくさんのお振込みをいただきました。ありがとうございました。美術館の活動など本法人の事業に生かしてまいります。会費・ご寄付は、年度中にも随時お受けいたしております。よろしく申し上げます。

理事長 阿部公輝

年会費

正会員 3,000円以上

協会員 1,000円以上

賛助会員(団体) 30,000円以上

(ご寄付も随時お受けしております)

振込口座

郵便振替: 00110-0-684539

銀行振込: みずほ銀行 調布支店

普通預金 8082621

口座名称(とも)

特定非営利活動法人 海から海へ

春、大学に若者たちが入学してきた。知らない場所、知らない人の間に身を置くことは不安だ。しかし、異なるものとの交流からは素晴らしいものが生まれる。そのことを知ってもらうため、また、不安を減らしバリアを少しでも低くするため、お互いを知るコミュニケーションワーク、場所を知るキャンパスオリエンテーリングが企画された。

企画は大成功であった。まず新入生が楽しんだ。同時に、学科を超えて協力した教員と大学院生が楽しんだ。ふだんすぐそこにあるのに気づけなかったことに気がついた。人をつなげようとする行為がそれを可能にしたということだと思う。イベントが終わって行われた打ち上げでは、夜遅くまで話がはずんだ。互いを知り、互いの思いに耳を傾けた。私が果たした役割は何であったか、そのとき分かった。人をつなげる小さな力になったと思う。学びがそれを可能にした。

画家の絵は観るものに強い作用を及ぼす。その作用は人をつなげる働きをもつ。絵が放つ(そして画家自身が発する)「あなたはそれでOKよ」という強いメッセージは、人をオープンにさせる。開館の日、美術館に集まった人たちにそれを感じた。日が暮れ最後まで残った人たちのあいだで、深いところであって自分を動かしている思いについて話しが及んだ。たくさんの良い話を聴き、豊かな時間を共有した。

宝物はいつもすぐそこにある。気づきさえすればよい。しかし気づくことは難しく、気づかなければそれは存在しない。まちの中、人と人が交流する機会は無限にある。良いものは無限にある。しかし、気づくには何かがいる。それは触媒=愛であろう。触媒を触媒であらしめる信頼であろう。気づいた人はそれを学ぶ。ミュージアムは、触媒が作用するところ、そして触媒を育てるところだ。

昨年初冬、駅のすぐ近くにすてきな場所が見つかった。ミュージアムのはじまり。そこでは触媒が触媒を生む。(輝)

特定非営利活動法人 海から海へ

<http://umi.or.jp> [office@umi.or.jp](mailto:office@umi.or.jp)

2007年4月29日 海から海へ No.14

編集責任者 阿部公輝

〒182-0024 東京都調布市布田1-43-3

オリエンテーション 108 うつわ和季内

Tel 042-441-2958 Fax 042-497-4878

発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 200円

無断転載禁止